

1 家庭ごみ有料化について

(1) 家庭ごみ有料化とは

なし

(2) 全国市区町村の状況

市民説明会

1	政令市、中核市の実施数が少ない。
2	具体的なメリットやデメリットなど、周辺ですでに実施している都市の状況をもっと説明してもらいたい。大分市が有料化の検討に至った経緯について、本音で話してもらわないと市民の理解は得られない。不法投棄などが増えるばかりだ。
3	20～30年前から有料化しているところもある。先進市の状況を提示して欲しい。

パブリックコメント

1	中核都市では実施している自治体はまだ半数も無いのに、大分市がしなければならないのか？実施している自治体、していない自治体を比較して正当な理由を示す。
2	中核都市の有料化進捗率は19.5パーセントであり今回は時期尚早と思います。
3	有料化については、既に「家庭ごみ有料化」を実施している市町村から、「有料化前後のごみ排出量変化」や「有料化による弊害」などの情報収集を積極的に行い、提示する必要があると思います。

自治委員説明会

1	先行都市のメリット、デメリットを示していくべきだ。もっと論理的、統計的にしていかなければならない。
---	---------------------------------------------------

アンケート(説明会)

1	中核市の有料化率はまだ少ない。
---	-----------------

(3) 大分県内の状況

市民説明会

1	大分県内の資料をもっと載せるべきだ。
---	--------------------

(4) 一般廃棄物(ごみ)処理基本計画による施策の位置づけ

なし

(5) 大分市行政評価における意見

なし

(6) 環境省の方針

なし

2 大分市のごみ処理について

(1)ごみ処理体系

なし

(2)ごみ処理基本計画

なし

(3)ごみ排出量の状況

市民説明会

1	回収された資源ごみがどれくらい回収されて、どれくらい再資源化したかという資料がほしかった。有料化実施後にも資源物の回収がどれくらい増えたか、知らせてほしい。
---	--------------------------------------------------------------------------------

自治委員説明会

1	大分市の人口は増えているがごみは減っている状況にあるので、どのように市民の理解を得るかが課題
---	------------------------------------------------

(4)分別の状況

市民説明会

1	12.2%の分別されていないごみがあると言われても市民はピンとこない。リサイクルするとどのくらいお金が入るといような説明をしてはどうか。訴え方が悪い(無駄)
2	組成調査結果でもわかるが、市民の分別意識がない。

パブリックコメント

1	ごみは燃やせるものは燃やすという発想(もちろんごみの減量化は必要)。分別はシンプルにする。「危険なもの」「有害なもの」「資源としての価値が非常にあるもの」「埋めるしかないもの」のみ分別して集める。
---	----------------------------------------------------------------------------------------------------

アンケート(説明会)

1	汚れたプラスチックを洗って資源にすると、水を大量に使うようになると思います。
2	まだ可燃ごみの中に資源物が混入しているとのことですが、資源物にするためには念入りに水洗いする必要があり、かえって水道を無駄使いしているような気がします。
3	クリーン推進員で仕事をしていますが、まったく守ってないので困ります。
4	せっかくこういう取り組みをしているのに心ない人が中において、分別されず出す人がいるのは本当に残念に思います。

(5) 他都市におけるごみ排出量の状況

市民説明会

1	他都市など、実施したところは、減量した実績があるのでしょうか。事例があればと思う。
2	中間答申の(5)他都市におけるごみ排出量の状況では、ごみ収集の有料化前後の比較データではないため、有料化の効果が不明です。

(6) ごみ処理費の状況

市民説明会

1	我々が有料化の是非を判断するには資料が乏しい。総経費の中で人件費がどのくらいか、焼却にはどのくらいか、外部委託にどのくらいかかっているのかといった情報がないと判断できない。
2	処理部門費の内訳を資料で示すべきだ。
3	消耗品や人件費などごみ処理にかかる経費の具体的な数値を市民に示す必要がある。その上でのごみ減量の経費を今後どれくらい市民で分担し合わなければならないという説明をしてほしい。
4	ごみの量が減らない、税金で行っているということは分かったが、処理部門費が下がってきているのに有料化する必要はないのではないか。

パブリックコメント

1	「環境影響についての調査書」の作成、「ごみ処理部門の収支内訳表および分別をはじめの前からの科目ごとの年度別変移資料」を作成。
---	----------------------------------------------------------------

自治委員説明会

1	市役所の決算が高いのであれば、まずそれから見直すべきだ。
2	市民には、経費についての説明を十分にした方が理解されるのではないか。
3	今回の資料だけでは判断できない。具体的に分かりやすく、例えばどのくらいのお金が使われていて、どのくらいの収入があるといった詳しい資料をお願いしたい。
4	燃焼効率が悪いから、焼却するのに重油を入れているとのことだが経費はもっと下げられるのではないか。

アンケート(説明会)

1	ごみ処理にかかる総コストの公表をお願いする。(新聞又は市報等をお願い)
2	現在の大分市のごみ処理に関する財政状況を明確に
3	高い市民税を払っている。税金の二重取りになる。93億(H18)→67億(H22)と市当局の努力によって費用を減らすことができている。26億も減っているのはすばらしい。

3 「家庭ごみ有料化」導入の妥当性について

(1)ごみ減量・リサイクルの必要性

なし

(2)ごみ処理の現状

なし

(3)「家庭ごみ有料化」導入の妥当性

市民説明会

1	市民は、分別の努力を取り組んでおり、現在が最終形であり方向性が違うのでは。
2	歳入はいくら想定し、無料化を継続(努力)する具体的な案は出せないのか。
3	市民のごみに対する意識向上が一番肝心である。
4	減量効果のための有料化ではないはずだ。
5	消費税が上がる。ごみを減量しリサイクルを推進するのはわかるが、経費がかかるのは厳しい。焼却施設の状況は?東北のがれきを持ち込もうとしたということは、余裕があるはず。以前ダイオキシンの問題が出たとき、すべて調査したのか。サリンの問題の時、浄水場は全部監視した。ごみの削減といいながら財政支援が目的だろう。
6	市の負担、市民の負担、それでもこれだけ足りないから有料化にする、という流れのほうがりやすい。
7	イメージは有料化実施である。市民に対して有料化の是非から問うべきだ。リバウンドしたら意味がない。有料化は財政の健全化のためにやるのでないか。環境に対する考え方やコスト面の資料が全くないのでわからない、資料に掲載すべきである。

パブリックコメント

1	ごみの減量をごみの「有料化」でしか実現できない市(市民)に対して残念に思う。しかし時代の流れでもあろう。
2	有料化に反対するわけではないのですが、有料化に対して本当によいのかどうかはもっとよく慎重に議論してほしいと願っています。
3	法律を検討外にして、まずは考える。法律にしばられると本当にすべきことが見えなくなる。環境にとっていいのか、費用はどうか、大分市民にとってどうか、未来は明るいのか、が大きな主題であると思います。
4	一番危惧することは、「経済的インセンティブ」を強調しすぎていることである。もちろん重要であろうが、「金を払っているのだから…」という考えを助長しかねない。「お金では換えられない大事なものを守る」等の意識改革を前面にして推進しなければならないと思う。

自治委員説明会

1	今回の説明会は意外だった。市の財政が苦しいからごみの有料化ということかと思った。
2	懲罰的な有料化ではないか。
3	有料化の目的は何か。ごみを少なくしたいのか、お金がほしいのか分からない。

アンケート(説明会)

1	ゴミ有料化をする目的をもっと説明すべきだ。有料化によって入った財源はどのように使うのか。九州の各県庁所在地は有料化されており、現在 60%も実施している状況を説明すべきだ。財政収入に対する比率(ゴミ処理費用)が何%で大きな負担になっている。一世帯あたりの費用も大きい。それをできるだけ少なくするには、ゴミ有料化はやむを得ないという説明が欲しい。
2	ごみ量の推移は横ばいなのに何故有料化なのか。目論見はごみ処理施設の更新費用の確保なのではないか？高齢化による税収の減少の影響か？

4 家庭ごみ有料化によって得られる効果について

(1) 家庭ごみの減量とリサイクルの推進

市民説明会

1	いきなり有料化の話をされて工場の延命化や財政問題とかが理由と思っていた。制度が変わってすぐは減量したとしても2、3年するとともに戻るのではないか。
2	有料化により減量の効果について、大学の学会では少数ながら効果が期待できないとされている。理由は、前年度に駆け込みで多く出され、数字上、次の年に減ったようになる。また数年後にはリバウンドするのではないか。
3	資料、10%減ったとあるが他の都市で減った実績を、今後付けてはどうか。
4	有料化をして何%の減量を目標とするのかをはっきり資料で示すべきである。
5	実施後、確かにごみ減量効果はあるはずだ。市民はもっと努力をすべきである。
6	有料化になれば減量するのだろうか。意識している人は説明会にも来るが、来ない人が問題で、マナーを守らない人は関心がなく、ますます守らなくなるのではないか。
7	家庭から出るごみの絶対量はほぼ一定していて、有料化しても減量にはつながらない。
8	減量の関係だが、有料の経験があるので私たちの地区ではそんなに減量につながらないのではないかと思う。一生懸命してもそんなに減量につながらないのではないかと思う。
9	有料化にすればごみが減るとは考えられない。

まちづくり出張教室

1	リサイクルするということのごみの分別をしっかりとやっていけば効率的に貢献するし、ごみの減量は、4Rなどはほとんどの家庭で実施されていると思うので、ごみの絶対量は変わるものではないと思う。ごみの減量について具体的な詳しい説明や事例があれば市民の減量に対する認識も深まるのでは。そこで努力する人としらない人と分けて説明する必要がある。周知啓発は必要である。ごみ量は横ばいの状況であるというが、減量の目標はどれくらいを考えているか。市民に対して目標の説明が必要。
2	生活ごみはそんなに減らない。

自治委員説明会

1	本当に減量の効果があるのか分からない。
2	有料化してもリバウンドしては意味がない。

アンケート(市民説明会)

1	有料化自体が減量につながらないと思う。
2	生活パターンを変えなければごみ減量はないと思う。国を挙げて国内消費向上を叫んでいる時、修理して使おうとは如何なものか。
3	有料化が今後ごみ減量につながっていくのかギモン。減量につながらないので、又、値上げすることは軽々にしないでほしい。ごみは今後も増える方向ではないのか。

4	今まで「まあこのくらい」と思って燃えるゴミに入れていたものもなるべく少なくしたい、ちゃんと分別しようという意識になっていくのでは、と私も思います。
5	ゴミ袋が有料→お金を払っている→分別が不十分となり、ゴミが増えてしまうのではないのでしょうか。
6	有料化してもゴミの量は変わらないと思う。
7	ごみの有料化により、ごみの減量につながるの考えられますが、やはり家庭負担が増えるのはきびしいです。消費税も上がりますし、会場の方が言っていましたが、市民からしてみれば有料化は増税と同じようなものです。低所得者にはどんどん生活が厳しくなるのです。極論、低所得者はあまり食べるなどなるのでは。(節約できるのは食費だけになっていくので)消費税が増税になりましたし、もう一度、今有料化する必要があるか考えて欲しいです。
8	ごみが各家庭から出される量はほぼ一定量でそんなに変化がないと思われます。公平性のために有料化することであると思いますが無理に有料にする必要はないと思います。不法投棄となりかえって他の機材を購入したり高くつくようになるのでは。万一有料になった場合、料金の支払方法はゴミ袋の購入時に支払うようにするのですか。
9	ある厚生大臣が、タバコが原因で不健康になっている。よってタバコを値上げすると発言し輦蹙をかっった。これに似た発想で、ゴミ袋を有料化にすれば量が減ると言うのはあまりにも短絡的。審議員を入れ替えて再検討したら。
10	ごみの減量はできるのでしょうか。ゴミ袋を減らしたりすることはできると思いますが、ごみ量は1袋に詰め込むだけで全体の量は生活が変化しない限り、ムリではないか。
11	家庭ごみを有料化にしたら、リサイクル分別も多くなると思う。
12	一時的にごみが減ってもしばらくすれば元に戻るのではないか。
13	有料化でごみが減るとは思わない。
14	有料化は負担の公平のため必要と思うが、減量に関しては数年で効果が薄れると聞く。これに対してはどう対処するか。

(2)ごみ処理に係る費用負担の公平性の確保

市民説明会

1	ごみの排出量は家族構成でかなり違うと思うので、不公平さが出るのは当然である。
2	公平性というが、例えば中心部は下水道整備が進み、田舎では汲み取り料が上がる。道路や河川もしかり、公園すらない。中心部と郊外では公平ではない。認識しておいて欲しい。

自治委員説明会

1	公平というのはおかしいのではないか。(お年寄りの一人暮らしでもごみは多く出す)
2	公平性とは、何と比べた公平性か？そういう比べ方はすべきではないのではないか？

アンケート(説明会)

1	公平性がうたわれているが、あまり公平性を感じない。
2	出す量に応じて負担を求めることは公平か。当然に公平ではない。同一条件(例えば家族数が同じなど)の世帯なら公平とも言えるが、家族数(子どもや介護高齢者がいるなど)が多い世帯の負担が大きくなるのは公平とは次元が異なる問題ではないでしょうか。1リットル1円は高くなさそうにも思えますが、現役世代のように収入が高くない、例えば、年金だけで生活している大半の高齢者や低所得者にとっては、決して影響がない額とはいえない。年金は徐々に目減りしており、消費税増税の波ももろに受けてしまいます。
3	公平になるための値上げといいますが3人家族と1人家族ではどうしてもごみの量は違うと思います。でも、税金は、1人は1人分、3人は3人分と何にでも付きます。だから公平だと思います。
4	ごみ量の多少の公平化は良いと思います。
5	公平性・・・大家族はごみも多い。生活費も多い。しかし、子供がいるところは、支えていくことも考えてほしい。

(3)ごみ処理費用の削減

市民説明会

1	得られる効果として経費の削減が大きく図られることを期待して説明会に来たがそうではないようだ。
2	可燃ごみが少ないと、コークスが必要になってかえって経費がかかるようなことを何年前に聞いたと思うが。

アンケート(説明会)

1	東部清掃工場は経費がかかりすぎると聞く。新日鉄丸投げして新日鉄の利益になるのでは。見直しを要求する。もっと安価で出来るのでは。
2	燃やせるごみが減少し、一時佐野焼却場で燃料油の使用量が多くなり8千万/年間、燃料費のUPと聞いたが、おかしい?
3	有料化の効果と有料化により懸念されるリスクを金額で提示してほしい。具体性がない。
4	ゴミ袋の中身を圧縮して重たくなると思う。焼却場で油、ガス等消費が多くなる。
5	ゴミ有料化の主旨が良くわからない。経費削減を具体的に示す事。

(4)ごみ減量・リサイクル施策の充実

なし